

B U S I N E S S
R E P O R T
2 0 2 4

第51期 報告書

(2024年1月1日 ~ 2024年12月31日)



クリエートメディック株式会社

証券コード 5187

からだにやさしい
未来の医療を築く





代表取締役社長 今澤 修

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第51期の報告書をお手元にお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

■国内の経済環境と医療機器業界

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、社会経済活動が正常化するなか、インバウンド需要の回復や個人消費の持ち直しにより、緩やかな景気回復が見られました。一方で、米国の保護主義的な政策への転換や、世界的な地政学リスクの高まりにより、サプライチェーンの再編成が加速する可能性があります。また、エネルギー価格や物価の高止まりを背景に、日本銀行による物価対策として政策金利を引き上げる動きがあるなど生産コストへの影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

■当連結会計年度の営業の概況と業績

このような状況のもと、当社グループは、営業面では価格戦略の見直しをおこなったほか、本年度発売の新製品の販売促進に注力いたしました。また、オンラインセミナーなどのマーケティング活動を展開し、積極的な販売活動に取り組んでまいりました。

開発面では、中期経営計画の重点戦略分野である泌尿器系・消化器系の製品ラインナップ充実に向けた新製品開発に注力するとともに、国内外の薬事規制や欧州の医療機器規則の強化に対応したライセンスの維持、新規認証取得にも対応してまいりました。

生産面につきましては、製品の安定供給のため、生産拠点間の生産品目の分散化を図るとともに、原材料や仕入品の安定的な確保を目指して、新たな調達ルートを開拓いたしました。

以上により、売上高につきましては、OEM販売の一部血管系製品の販売終了により大幅な減少が見られましたが、国内販売における泌尿器系製品の好調に加え、

海外販売も中国販売が引き続き増加していることから、全体として増加となりました。利益面では、円安や物価高騰による材料費および輸入仕入コストの増加が売上原価を押し上げたことに加え、本社移転に伴う経費の増加により、販売費及び一般管理費が大幅に増加した結果、営業利益が減少いたしました。また、本社屋の売却により特別利益が発生したことから、親会社株主に帰属する当期純利益が大幅に増加いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高13,030百万円（前期比3.5%増）、営業利益692百万円（前期比13.8%減）、経常利益750百万円（前期比14.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益840百万円（前期比446.0%増）となりました。

次に売上の概況を販売形態別にご報告いたします。

自社販売のうち、消化器系製品が競争激化による影響で売上が減少したものの、泌尿器系製品の販売拡大および価格改定効果により、売上高7,182百万円（前期比3.8%増）となりました。

海外販売は、欧州向けの売上が好調を維持したほか、中国向け販売が拡大したため、売上高4,608百万円（前期比8.3%増）となりました。

OEM販売は、新規上市の内視鏡関連製品が好調であるものの、一部血管系製品の販売終了による減少を補えず、売上高1,239百万円（前期比12.0%減）となりました。

■対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、新型コロナウイルス感染症の影響緩和に伴うインバウンド需要の拡大や賃金上昇を背景とした個人消費の回復により、緩やかな景気回復が期待されております。一方、海外では、米国による保護主義的な政策への転換に伴う貿易摩擦の激化やグローバル化の停滞が進むなか、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化によりエネルギー価格の高止まりやサプライチェーンの不安定化が懸念されております。さらに、高インフレ対策として中央銀行が政策金利の引き上げを進めることで、急激な為替相場の変動が発生し、輸入コストの上昇や企業活動への影響が予想され、依然として先行きが不透明な状況です。

2025年12月期の業績予想について、国内市場では新製品の上市と価格戦略の見直しを通じて売上の拡大を見込んでおり、海外市場においては、地域特性に応じた販売戦略を展開し、特にインドおよびインドネシアにおける販売拡大に注力してまいります。また、利益面では、収益構造の改善および原価低減施策の推進により、一層の利益向上を目指してまいります。

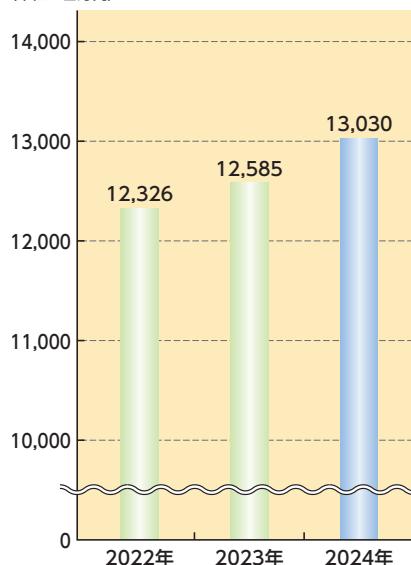
当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営の重要施策と位置付け、今後の収益力向上のために内部留保による経営基盤の強化を図りつつ、安定的かつ継続的な配当を実施してまいります。

今後の業績向上に全社一丸となり邁進いたします決意でありますので、株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績の推移

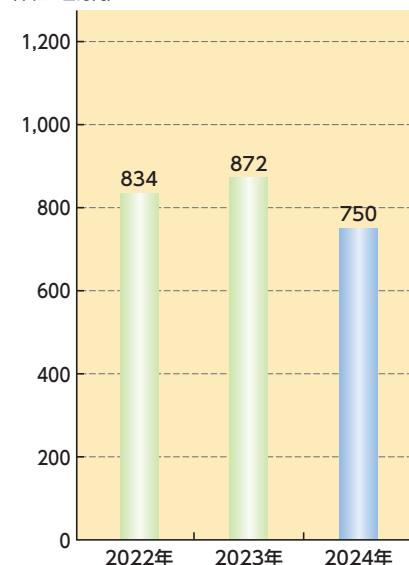
[売上高]

(単位：百万円)



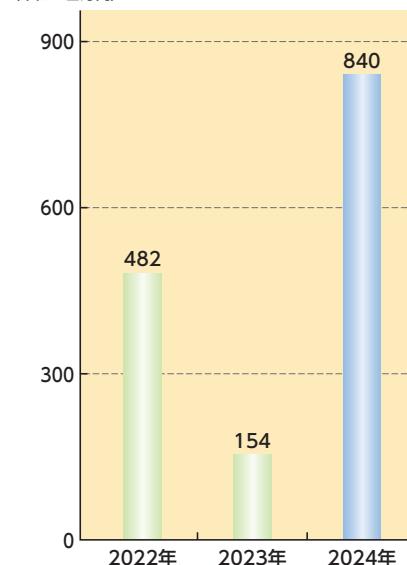
[経常利益]

(単位：百万円)



[親会社株主に帰属する当期純利益]

(単位：百万円)



区 分	2022年 (第49期)	2023年 (第50期)	2024年 (第51期)
売 上 高 (百万円)	12,326	12,585	13,030
経 常 利 益 (百万円)	834	872	750
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	482	154	840
総 資 産 (百万円)	18,865	19,258	20,047
純 資 産 (百万円)	14,723	14,944	15,750
フリーキャッシュ・フロー (百万円)	522	335	2,529
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)	53.00	16.92	95.41
1 株 当 た り 純 資 産 額 (円)	1,618.10	1,641.59	1,833.67
1 株 当 た り 配 当 金 (円)	37	37	39

(注) 1. フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローおよび投資活動によるキャッシュ・フローの合計額を表示しております。
2. 2024年（第51期）の1株当たり配当金39円は、設立50周年記念配当2円を含んでおります。

連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	第51期 (2024年12月31日現在)	第50期 (2023年12月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
流動資産		13,940	12,722
現金及び預金		6,317	4,392
受取手形		95	171
電子記録債権		1,199	1,352
売掛金		1,867	1,904
商品及び製品		2,091	2,376
仕掛品		774	889
原材料及び貯蔵品		1,055	1,049
その他		544	591
貸倒引当金		△5	△3
固定資産		6,107	6,535
有形固定資産		4,843	5,389
建物及び構築物		2,544	2,456
機械装置及び運搬具		473	473
土地		1,086	1,643
建設仮勘定		191	293
その他		548	522
無形固定資産		532	565
借地権		177	168
その他		354	397
投資その他の資産		731	580
投資有価証券		619	454
繰延税金資産		71	85
その他		40	41
資産合計		20,047	19,258

科目	期別	第51期 (2024年12月31日現在)	第50期 (2023年12月31日現在)
		金額	金額
(負債の部)			
流動負債		3,105	2,967
支払手形及び買掛金		534	498
電子記録債務		248	288
短期借入金		800	800
未払法人税等		83	84
賞与引当金		53	52
役員賞与引当金		12	16
前受金		－	86
その他		1,372	1,140
固定負債		1,191	1,347
退職給付に係る負債		836	1,004
繰延税金負債		261	216
資産除去債務		2	2
長期未払金		28	34
その他		63	88
負債合計		4,296	4,314
(純資産の部)			
株主資本		13,023	13,028
資本金		1,461	1,461
資本剰余金		1,486	1,486
利益剰余金		11,078	10,586
自己株式		△1,003	△506
その他の包括利益累計額		2,727	1,915
その他有価証券評価差額金		129	77
繰延ヘッジ損益		6	－
為替換算調整勘定		2,380	1,735
退職給付に係る調整累計額		210	103
純資産合計		15,750	14,944
負債・純資産合計		20,047	19,258

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 7,338百万円

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	第51期	第50期
		(2024年1月1日～ 2024年12月31日)	(2023年1月1日～ 2023年12月31日)
		金 額	金 額
売 上 高		13,030	12,585
売 上 原 価		7,326	7,107
売 上 総 利 益		5,704	5,478
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		5,011	4,675
営 業 利 益		692	803
営 業 外 収 益		73	86
営 業 外 費 用		15	17
経 常 利 益		750	872
特 別 利 益		390	56
特 別 損 失		53	24
税金等調整前当期純利益		1,086	904
法人税、住民税及び事業税		259	322
法人税等調整額		△13	427
当 期 純 利 益		840	154
親会社株主に帰属する当期純利益		840	154

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり当期純利益(期中平均株式数による)95円41銭

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	第51期	第50期
		(2024年1月1日～ 2024年12月31日)	(2023年1月1日～ 2023年12月31日)
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,249	698
投資活動によるキャッシュ・フロー		270	△363
財務活動によるキャッシュ・フロー		△877	△362
現金及び現金同等物に係る換算差額		248	95
現金及び現金同等物の増減額		1,891	68
現金及び現金同等物の期首残高		3,770	3,702
現金及び現金同等物の期末残高		5,662	3,770

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額					純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当 期 首 残 高	1,461	1,486	10,586	△506	13,028	77	-	1,735	103	1,915	14,944
当 期 変 動 額											
剰 余 金 の 配 当			△349		△349						△349
親会社株主に帰属する当期純利益			840		840						840
自 己 株 式 の 取 得				△499	△499						△499
自 己 株 式 の 処 分		0		3	3						3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						52	6	644	107	811	811
当 期 変 動 額 合 計	-	0	491	△496	△4	52	6	644	107	811	806
当 期 末 残 高	1,461	1,486	11,078	△1,003	13,023	129	6	2,380	210	2,727	15,750

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表 (要旨)

■貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	第51期 (2024年12月31日現在)	第50期 (2023年12月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
流動資産		8,216	7,857
固定資産		5,079	5,578
有形固定資産		2,372	2,961
無形固定資産		302	358
投資その他の資産		2,404	2,257
資産合計		13,296	13,435
(負債の部)			
流動負債		2,740	2,511
固定負債		1,112	1,134
負債合計		3,853	3,646
(純資産の部)			
株主資本		9,306	9,712
資本金		1,461	1,461
資本剰余金		1,486	1,486
利益剰余金		7,361	7,269
自己株式		△1,003	△506
評価・換算差額等		136	77
その他有価証券評価差額金		129	77
繰延ヘッジ損益		6	-
純資産合計		9,442	9,789
負債・純資産合計		13,296	13,435

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	第51期 (2024年1月1日~ 2024年12月31日)	第50期 (2023年1月1日~ 2023年12月31日)
		金額	金額
売上高		10,161	9,887
売上原価		6,410	6,610
売上総利益		3,751	3,277
販売費及び一般管理費		3,973	3,716
営業損失(△)		△222	△438
営業外収益		483	733
営業外費用		7	8
経常利益		254	285
特別利益		300	-
特別損失		53	24
税引前当期純利益		500	260
法人税、住民税及び事業税		67	86
法人税等調整額		△7	386
当期純利益又は当期純損失(△)		440	△212

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■株主資本等変動計算書 当事業年度(2024年1月1日~2024年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本										評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		利益剰余金	その他利益剰余金	利益剰余金合計						
当期首残高	1,461	1,486	0	1,486	150	4,900	2,219	7,269	△506	9,712	77	-	77	9,789
当期変動額														
剰余金の配当							△349	△349		△349				△349
当期純利益							440	440		440				440
自己株式の取得									△499	△499				△499
自己株式の処分			0	0					3	3				3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)											52	6	58	58
当期変動額合計	-	-	0	0	-	-	91	91	△496	△405	52	6	58	△346
当期末残高	1,461	1,486	0	1,486	150	4,900	2,311	7,361	△1,003	9,306	129	6	136	9,442

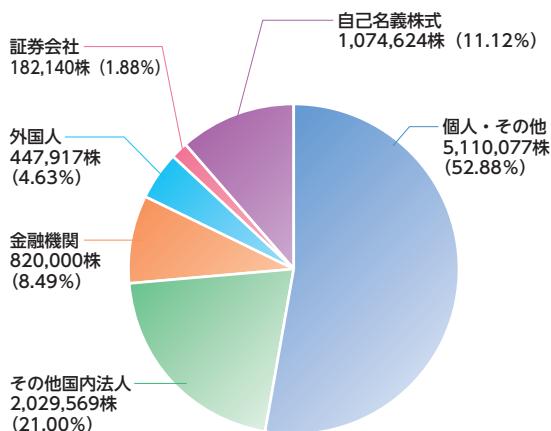
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2024年12月31日現在)

役員 (2025年3月28日現在)

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式の総数 9,664,327株
- 株主数 8,844名

株式分布状況



- | | |
|------------|--------------|
| 代表取締役社長 | 今澤修 |
| 専務取締役 | 赤岡洋三 |
| 取締役 | 秋元克也 |
| 取締役常勤監査等委員 | 橋井敦 |
| 取締役監査等委員 | 磯貝和敏 (社外取締役) |
| 取締役監査等委員 | 日暮良一 (社外取締役) |
| 取締役監査等委員 | 工藤敦子 (社外取締役) |

会社の概要 (2024年12月31日現在)

- 本社所在地 〒222-0033
横浜市港北区新横浜二丁目5番地15 新横浜センタービル8階

(注) 2024年7月1日に開設した新横浜オフィスに本社機能を移転し、2024年11月25日より本社といたしました。

- 設立 1974年8月12日
- 資本金 1,461,735,390円
- 事業所 北海道工場、水戸事業所、殿町イノベーションオフィス・研究開発センター、札幌支店、仙台支店、さいたま支店、東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、福岡支店

(注) 研究開発センターは、用途変更等により2024年9月24日に殿町イノベーションオフィス・研究開発センターに改称いたしました。

- 連結子会社 大連クリエート医療製品有限公司
クリエート国際貿易(大連)有限公司
九州クリエートメディック株式会社
ベトナムクリエートメディック有限会社

製品紹介

クリエートメディックでは、安全性が高く、違和感や苦痛が少ない素材であるシリコンを用いた製品を幅広く取り扱っております。また、高度な技術を背景に医師や看護師など医療従事者とともに、医療現場の様々なニーズを取り込んだ製品開発をおこない、患者様のQOL (Quality of life) の向上を目指しております。

泌尿器系



留置導尿関連製品

全身麻酔による手術後など排尿が困難な場合に、尿道からカテーテルを挿入して膀胱内の尿を排出します。また、持続的な排尿が可能です。



腎瘻（じんろう）造設術関連製品

尿管の通過障害による腎後性腎不全などのときに、経皮的に腎臓にカテーテルを留置し排尿することを目的とします。



自己導尿関連製品

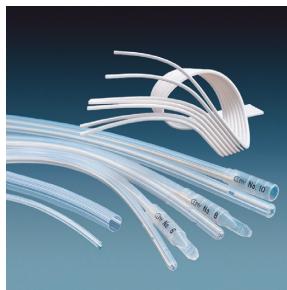
排尿障害などを起こした場合に、患者様が自らまたは介護の方が一定時間毎に尿道にカテーテルを挿入して排尿するためのカテーテルです。

外科系



PTCD関連製品

胆管や胆嚢にたまった胆汁を経皮的に排出するキットで、手技に必要な器具が滅菌済トレイに入っています。また、確実性の高い穿刺を可能とする超音波穿刺針を用いて、経皮的にカテーテルを留置します。



ドレーンチューブ

手術後の傷口などにたまった血液や尿などを、外に排出するためのドレーンチューブです。ドレーンから排泄される体液の色や状態をチェックすることで、術後の経過や異常を発見することができます。



腹腔鏡下内視鏡手術用製品

より低侵襲を追求した細径の鉗子で、開腹することなく腹腔鏡下で手術をおこなう際に使用します。

消化器系



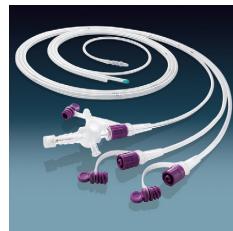
イレウス関連製品

イレウス（腸閉塞）の患者様に、鼻または肛門からカテーテルを挿入して、腸内にたまった内容物を吸引・減圧するために使用します。また、挿入したカテーテルに造影剤を入れ、患部の造影をおこないます。



胃瘻（いろいろ）造設術関連製品

脳血管障害などで自発的に栄養を摂取できないときに、経皮的に胃にカテーテルを挿入して栄養を投与します。



栄養投与関連製品

開口障害や全身衰弱が著しく食物の摂取が不可能なときに、鼻から胃内や腸に挿入して栄養投与をおこなうものです。

麻酔・呼吸器系



麻酔関連製品

術後や末期がんの患者様などの「疼痛管理」に使用される携帯型ディスプレイ付き注入ポンプです。注入量は長時間使用しても安定しており、術後の患者様の痛みを和らげる短期的な使用に威力を発揮します。



呼吸器関連製品

気道の確保が必要で気管挿管が困難な患者様に、気管とその上部の皮膚を切開して挿入する気管切開チューブです。

看護・検査系ほか



看護関連製品

あらゆる尿路ストマー装置や、尿失禁用カテーテルに接続することができ、大腿部・下腿部に固定することで、無理なく社会生活をおくることが可能です。



生検針

生体から細胞・組織を針を刺して採取したり、吸引して採取する針です。

株主メモ

- **事業年度** 毎年1月1日から12月31日まで
- **定時株主総会** 毎年3月下旬
- **定時株主総会の基準日**
期末配当の基準日 毎年12月31日
- **中間配当の基準日** 毎年6月30日
- **公告方法** 電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
- **株主名簿管理人**
(特別口座の口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- **郵便物送付先**
(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **特別口座について**
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



クリエートメディック株式会社

本 社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜二丁目5番地15 新横浜センタービル8階
TEL (045) 777-0111 URL <https://www.createmedic.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。